

## 平成30年度 狭山市立笹井小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。 (90%以上)
- B : 概ねできている。 (85%以上)
- C : あまりできていない。 (70%以上)
- D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・校長の経営方針のもと、職員が一人一人経営参画意識をもって「チーム笹井」として学校運営が進め、学校、学年、学級経営で共通課題と共通認識をもち、足並みを揃えて取り組んでいる。	・特に下校時に校庭に集合し、あいさつをしてから帰る姿に先生方と児童が密接に関わっている様子が伺える。 ・校内はきれいに整えられているが、夏季に草木が茂る頃のフェンスに巻きつくツルや校庭周辺の雑草、秋季・冬季の落ち葉は気になる。 ・校長先生の指示が明確で具体的です。職員にもそれをしっかりと受け止める用意ができていように感じました。 ・様々な場面で、よく情報交換をしていらっしゃる。結構風通しの良い雰囲気だと思いました。 ・学校の重点目標に向けて教師・家庭が同じ方向に進んでいる事が感じられる。 ・校長先生が率先して目標取り組む姿勢が良く見られ、学校全体が一丸となって教育活動に邁進しておられます。今後も継続を期待しています。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	B		
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・学校教育への保護者の理解と協力が得られ、地域と共に児童を育むことができている。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A	・施設設備の瑕疵による事故は今年も一度もなかった。全職員が常に高い意識で安全点検を行った成果である。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	・年間を通じて、教職員の授業力向上の研修に一人一人が課題意識をもって取り組み、着実に指導力が向上してきている。	・種々の学力調査や調査の結果通りだと思えます。授業は本当に落ちついていると思えます。 ・学習のやり方を統一することで、児童が学習しやすくなっている。 ・家庭学習については、まず何をやるかの選択から始まり、最後までやりきることを繰り返す毎日であり、とても良い学習方法だと思えます。 ・参観の際には学級も落ち着いて授業に取り組んでいる。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	・学校課題研究を通じて、「人との関わりを通して、自己を高めようとする児童」の育成に取り組み、特別活動の授業力の向上を図った。	
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	B	・家庭学習については、低学年は宿題で繰り返しの基礎基本の定着、中学年は自主学習と宿題を適宜取り入れ、高学年は多くを自主学習にしている。	
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	A		
	10	児童は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B	・自ら進んで主体的に学習に取り組めるように指導方法を工夫する必要がある。	
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	B	・あいさつについては、3学期になり、地域の方々から改善されたとお褒めの言葉もいただいているが、登下校、校内ともまだまだ不十分ととらえているので、年間計画の中に組み入れ、学校全体、学年・学級で指導していく必要がある。	・登校班では、あいさつをする子は限定されるので、Cとさせていただきました。(下校班で正門で見送る際には先生方が声をかけてくださるのでBです。) ・登下校時の言動で心配される児童は数人いるが、集団を多く乱すことはほとんどなく先生方の指導が入っていることが分かる。 ・児童個々によって差はありますが、挨拶しようという気持ちは多くの児童が持っていると感じました。繰り返しの指導と教師の実践する態度が大切だと思えます。先生方は頑張っていると思えます。 ・学校の関係者ではない地域の人に対して、あいさつをしたり、配慮ある態度が少し欠けている感じることがある。 ・もう少し挨拶を徹底するべきでは。特に高学年があまりよくできていません。西中生の方が積極的に見えます。何か一工夫願います。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	B		
	13	児童は、時間を守って生活している。	A	・朝会等、全員が集まる場では静かな態度で待ち、聞くことができる。	
	14	児童は、きまりを守って生活している。	A	・基本的な生活習慣に関して保護者と密に連絡を取って取り組んでいるが、引き続き定着・改善に向けて指導に力を入れていく必要がある。	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B	・児童の誇りである「きれいな笹井小」を維持するために、清掃指導の徹底を図っている。	
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	B	・本校の体力課題である「握力」を重点とし、さらに各学年の体力課題を明らかにして体育の授業を中心に発達段階に応じた取り組みを年間を通じて実施した。	・体育の授業は、規律ある指導場面をよく見かける。運動会も先生方の指導が行き届いた場面が多く、児童に力があることがよくわかった。 ・走って校庭に飛び出す児童の様子には、思わず顔がほころんでしまいます。子供は元気です。 ・学校での取り組みと合わせて家庭でも外遊び等の呼びかけをした方がよい。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	・保健学習「生き生きタイム」「健康な生活」等への児童の関心が高まりつつある。	
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	B		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・地域、PTAの協力が大変多く、良好な関係が保たれている。 ・今後も学校公開日や参観日、HPや学校だよりを通して「開かれた学校」づくりを目指す。	・限られた環境(財源・人材・資源)の中で先生方のご努力に頭が下がります。 ・開かれた学校を感じます。素晴らしいと思えます。 ・よい対応をいただいている。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B		